食品スーパーのマルアイ（本社・加古川市神野町神野）が、東播2市2町の子ども食堂向けに、販売できなくなった食品や調味料などを地元の社会福祉協議会を通じて寄贈した。

今春ごろから食品ロス削減や地域福祉の推進を目的に、東播地域の子ども食堂向けに食材などの寄贈に取り組んでいる。

寄贈されたのは、流通過程で包装していた箱が破損するなどして販売できなくなったものが中心。

マルアイ物流課の仲村貞明課長は、「これまで処分していたものを使ってもらえるのは、われわれとしてもうれしい。不定期になると思うが、今後も食材の寄付を続けられれば」と力を込めた。

( 神戸新聞2025年8月9日(日刊)より一部抜粋 )